



2024年5月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ス ク リ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 渋谷 守浩
(コード番号：2196 東証スタンダード)
問 い 合 せ 先 取 締 役 C F O 吉瀬 格
(TEL. 050-1743-3418)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、現状分析・評価を行い、改善に向けた方針および具体的取り組みを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

当社は、2021年3月期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により主力事業であるブライダル関連事業の売上高が減少し、大幅な損失を計上したことにより、自己資本が毀損いたしました。その対応として、SBIフィナンシャルサービシーズ株式会社に対して普通株式を発行し、6億円を調達したことに加え、普通株式の希薄化を抑制しつつ、財務体質の安定化を図る目的から三井住友ファイナンス&リース株式会社に対してA種種類株式を発行し、30億円の調達を行い、資本増強を行いました。

2022年3月期には親会社株主に帰属する当期純損益の黒字化、2023年3月期においては3期ぶりに営業損益が黒字化し、直近の2024年3月期は各段階利益において前期比較で増益となり、安定的に黒字を確保できる状況まで業績は回復いたしました。

PBR（株価純資産倍率）については、2024年3月末時点では1.3倍と1倍以上を確保しており、2024年3月期のROE（自己資本利益率）は10.2%と当社試算の株主資本コスト8.0%を上回る水準であり、2024年3月期のROIC（投下資本利益率）は3.9%と当社試算のWACC（加重平均資本コスト）3.8%を上回る水準となっております。

項目 (連結)	単位	15期 2018年3期	16期 2019年3期	17期 2020年3期	18期 2021年3期	19期 2022年3期	20期 2023年3期	21期 2024年3期
売上高	百万円	31,700	33,302	31,430	12,941	22,242	24,129	26,639
営業利益	百万円	1,950	2,191	1,546	△6,401	△1,376	210	929
親会社株主に 帰属する 当期純利益	百万円	665	1,078	455	△5,416	477	168	619
ROE	%	10.7	15.6	6.2	△83.1	8.3	2.9	10.2
ROIC	%	7.7	9.3	7.4	△25.0	△5.3	0.9	3.9
PBR	倍	1.6	1.1	0.6	2.4	2.0	1.6	1.3
PER	倍	15.7	7.3	9.5	—	22.1	—	12.5

2. 方針および目標

現状分析・評価を踏まえ、2025年3月期においては、2024年5月14日付決算短信にて公表いたしました連結業績予想を達成することが何より重要と捉えております。まずは業績回復と安定的な利益確保が重要であり、親会社株主に帰属する当期純利益を確保するためには、主力事業であるブライダル関連事業において課題である受注率回復が必要不可欠と考えており、改善に向け取り組みを実施しております。

また、A種種類株式については、親会社株主に帰属する当期純利益を確保し、一定程度の財務体質の安定化が確保出来次第、償還を進めてまいります。償還を進めることにより資本コストの低減及びROE（自己資本利益率）の改善に繋がると認識しております。

こうした方針に基づき、「3. 改善に向けた具体的取り組み」に記載した各取り組みを実施することで、資本コストを上回る新型コロナウイルス感染症拡大前（2018年3月期及び2019年3月期）のROE（自己資本利益率）水準を目指してまいります。

3. 改善に向けた具体的取り組み

① 収益力の向上

(ア) ブライダル事業の売上増加（受注、単価の増加）

(イ) ブライダル以外の事業の売上増加

(法人宴会「Party Hunter」、旅行事業「アニクリトラベル」、M&A含む新たな事業)

(ウ) コスト削減

② 資本政策・財務政策

(ア) A種種類株式の償還

(イ) 欠損金繰越控除制度の活用

③ IR活動の充実

(ア) 1 on 1 ミーティング

(イ) 適時・適切な情報開示の徹底

以 上